

北イタリア安全対策情報（2023年1月～3月）

1 治安情勢

当地では、観光客の増加に伴い、日本人を対象とした窃盗などの被害申告が増えており、その多くは公共の場所や電車内でのスリや置き引き被害になっています。

特にミラノ市内では、地下鉄での東欧女性スリグループによる押し囲みスリ被害や、ミラノ中央駅でのエレベーターなどで「荷物を持ってあげる」と声をかけた際の置き引き被害が多く発生しています。また、iPhoneを狙った窃盗も多数報告されています。当館に被害を申告する方のほとんどはパスポートが盗まれたためであり、これは被害の氷山の一角であると考えられます。

犯罪被害を防止するためには、日本と異なる犯罪情勢に対して十分な注意を払い、意識して生活や旅行を楽しむことが重要です。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）以下は、犯罪被害の事例をまとめたものです。

(1) 車上狙い：2件（参考：10月から12月は1件）

被害例：車のタイヤが突然パンクし、停車中に荷物が盗まれた。

(2) 置き引き：5件（同：2件）

被害例：電車内やレストランで目を離した隙にバッグが盗まれた。

(3) スリ：17件（同：7件）被害例：地下鉄で女性グループに押し込まれた際にバッグから財布が盗まれた。

また、ミラノ中央駅で若い女性に話しかけられた際に荷物が盗まれた。

(4) ひったくり：2件（同：1件）

被害例：電話をしながら歩いていたところ、突然携帯電話が盗まれた。

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例を以下にまとめます。

(1) 3月上旬、ミラノ市内中央駅付近の路上で、男性がペナナイフで6人を連続で襲撃し、所持品を奪った強盗致傷事件が発生しましたが、その後犯人は逮捕されました。

(2) 3月上旬、ミラノ市サン・ゴットアルド大通り付近の路上で、イタリア人男性（25歳）が突然3人の男性に囲まれ、身につけていたロレックス製腕時計を強奪されました。

※高級時計を狙った強盗事件は頻繁に発生しています。

(3) 3月上旬、ミラノ市内ファマゴスタ通り付近の路上で、男性が電動スクーターを運転中に車に衝突され、死亡しましたが、犯人は逃走しました。

4 テロ・爆弾事件発生状況、対日感情の変化、本企業の安全に関する諸問題 特になし